

第69回北海道高等学校文化連盟石狩支部

# 演奏会

2023

ひ

あ

音楽を!



令和5年6月22日(木) 10:30 開演

6月23日(金) 10:00 開演

カナモトホール(札幌市民ホール)

※会場内での録音・録画、写真撮影は「著作権」「肖像権」の侵害となるため固くお断りいたします。  
円滑な大会運営にご協力願います。

主催：北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部

共催：(公財)札幌市芸術文化財団

当番校：北海道札幌南陵高等学校

## 第69回高文連石狩支部演奏会に寄せて

北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部長

市立札幌旭丘高等学校長 相 沢 克 明

ようやく、コロナ禍の長いトンネルを抜け、4年ぶりに日常の生活が戻ってきました。確かに、2類相当から5類へとその位置付けが変わったとはいえ、新型コロナウイルスが消滅したわけではなく、引き続きの感染症対策は求められているところですが、世の中全体は、間違いなく、ポストコロナの段階へと移行しています。5月以降は、生徒の皆さんも、ほとんど制限のない中で日々の部活動に取り組んでいることと思います。

このような中、本演奏会も、今年度は、ほぼコロナ禍以前の形態に戻し、生徒同士の相互鑑賞を奨励するとともに、一般の皆様を含め有観客で実施することとして当日券の販売を再開しました。この二日間、カナモトホールにお越しいただく高校音楽ファンの皆様とともに、57校、82団体、約2500人の生徒の皆さんをお迎えできることを心からうれしく思います。

この3年間、常に私たちの隣にはコロナがあり、感染者数の数字に脅かされながら、人と人との距離を取り、できるだけ対面で話をする事なく、マスクを手放せない生活を余儀なくされました。本来、音楽の醍醐味は、一人一人の「私」がたくさん「あなた」と、心と心を通じ合わせながら、素敵な音の調和を生み出すところにあると思います。その意味では、コロナ禍が強いた生活スタイルは、より最高の音楽を追い求める生徒の皆さんにとっては、本当につらいものだったと思います。そんな中であっても、好きな音楽を諦めることなく、様々な工夫の下、各学校の伝統サウンドのバトンをしっかりと受け継ぎ、本日、このステージに立っている皆さんは素晴らしいです。本当によく頑張りました。その健闘を相互に称え合い、マスクを外して思いっきり歌い、演奏できる喜びを、会場に集う皆さんとともに分かち合いたいと思います。

例年同様、本演奏会では、10月4日～5日に小樽市民会館で開催される「第57回全道高等学校音楽発表会(高文連全道大会)」への推薦校が決定されます。皆さんが心の底から音楽を楽しみ、さらなる高みを目指して、日頃の練習の成果を思う存分発揮されることを楽しみにしています。

最後になりますが、本演奏会の開催に向けた準備、及び当日の運営にご尽力いただきます、当番校の北海道札幌南陵高等学校並びに次年度当番校の北海道札幌白石高等学校の生徒、教職員の皆様、そして、専門委員、実行委員の皆様からお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## アーティスト珠玉の名言を出演する高校生の皆さんへ

### 第69回高文連石狩支部演奏会当番校

北海道札幌南陵高等学校長 小野達彦

「彼は何千人もの人に聴かせるように弾くが、私はただ一人の人に聴かせるために弾く。」  
フレデリック・ショパン（ポーランド：作曲家、ピアニスト）

「誰かと分かち合えないものは、私にとって無意味だ。」  
レナード・バーンスタイン（アメリカ：指揮者、札幌の国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）の創設者）

「どんなにイケてない奴でも、ロックをやれば必ずモテる。」  
ジャック・ブラック（アメリカ：俳優・歌手、映画「スクール・オブ・ロック」より）

「音楽はいつだって世界中の人々の心に訴える、最も強力な言語の1つだ。」  
ジミー・ペイジ（イギリス：ロック・バンド「レッド・ツェッペリン」ギタリスト）

「練習嫌いの僕が言うと説得力がないかもしれないけど、とにかく好きな音楽を弾くのが一番。好きな音楽だったら、うまくなりたいたいと一生懸命練習するでしょう。それをきちんと弾けるまで練習を積み重ねる。」

坂本 龍一（日本：作曲家、編曲家、ピアニスト、俳優、音楽プロデューサー）

「舞台に立つ人間そのものにも芸術性が必要です。ですからバレエの訓練だけをやっているだけでは良いわけではなく、バレエを離れた時間をどういう風に過ごすかも大切。」

吉田 都（日本：バレリーナ、英国ロイヤル・バレエ団でプリンシパル）

「他人の目、気になるけど。あとあとのこと、考えちゃうけど。勢いあまって、はみ出してみよう。恥ずかしさの向こうへ、ふみ出してみよう。みんなと一緒に楽しい。でも、みんなと違うってすばらしい。」

新しい学校のリーダーズ（日本：ダンス&ボーカル・パフォーマンス・ユニット）

今回は会場をカナモトホールへ移し、より多くの方々に観覧いただける環境下で本演奏会を開催いたします。大きなステージから、生徒の皆さんの心のこもった発表をお届けすることに大きな喜びを感じています。さまざまな困難を乗り越え今日の日を迎える彼らの思いとがんばりに、たくさんの温かい拍手をお願いいたします。そしてこれまでの顧問の先生方のご指導、保護者の皆さまのご理解とご協力へ心より感謝申し上げます。

音楽を愛し練習を続けてきた生徒の皆さん、となりに汗と涙を共有してきた仲間がいます。目の前の観客席へ向かって、思う存分自分たちの演奏を楽しんでください。

全ての人の心に残る、そんな2023演奏会になることを願っています。













17:00	34	北海道札幌啓成高等学校 岸田衿子の詩による無伴奏混声合唱曲集 「うたをうたうのはわすれても」より “うたをうたうのはわすれても”	指揮 金森 正郎 作曲 津田 元	作詞 岸田 衿子
17:06	35	北海道札幌東高等学校 無伴奏女声合唱のための組曲祇園創双紙より <第二曲>舞姫	指揮 酒井 葉子 作曲 西村 朗	作詞 (短歌) 吉井 勇
17:12	36	北海道大麻高等学校 ここから始まる	指揮 山口 由人 作曲 北川 昇	作詞 みなづき みのり
17:18	37	北海道札幌稲雲高等学校 お伽草子「混声合唱のための3つのエチュード」より “小町草子より 歌よみのこころ”	指揮 竹本 正治 作曲 千原 英喜	作詞 お伽草子より
17:24	38	北海道札幌国際情報高等学校 女声合唱とピアノのためのフモレスケ 雪の蝶より 夢	指揮 北田 悠馬 作曲 土田 豊貴	伴奏 藤村 美里 作詞 木島 始
17:30	39	北海道札幌南高等学校 ひとつの歌にも	指揮 印部 陽一 作曲 石若 雅弥	伴奏 森 淳朗 作詞 谷川 俊太郎
17:36	40	札幌第一高等学校 混声合唱組曲 安水稔和の詩による 「祈りのうた」より “風のうた”	指揮 平田 稔夫 作曲 三宅 悠太	伴奏 福森 百伽 作詞 安水 稔和
17:42	41	市立札幌藻岩高等学校 Laudate Dominum	指揮 小泉 淳 作曲 G.レヴェンテ	
17:48	42	札幌山の手高等学校 混声合唱とピアノのための組曲「目をそらさずに」 より “絵本”	指揮 幅野 由美 作曲 市原 俊明	伴奏 伊藤 千尋 作詞 吉原 幸子
17:54	43	北海道科学大学高等学校 混声合唱曲「方舟」より “木馬”	指揮 阿部 和佳代 作曲 木下 牧子	伴奏 蔦谷 奈緒 作詞 大岡 信

第69回 高文連石狩支部演奏会 講師

	合唱部門	大嶋 恵人	全日本合唱連盟北海道支部事務局長
	合唱部門	尾崎 あかり	合唱指揮者・声楽家
	合唱部門	三山 博司	札幌大谷大学芸術学部音楽科教授
吹奏楽部門	器楽・管弦楽部門	菅原 克弘	元北翔大学教授
吹奏楽部門	器楽・管弦楽部門	櫻井 匡	札幌管楽ブリストレントランペット奏者
吹奏楽部門	器楽・管弦楽部門	八條 美奈子	札幌フルート協会副会長

第69回 高文連石狩支部演奏会 役員・運営委員

高文連石狩支部音楽専門部長	相 沢 克 明	市立札幌旭丘高等学校長
第69回合同演奏会当番校長	小 野 達 彦	北海道札幌南陵高等学校長
第69回合同演奏会運営委員長	島 村 真 幸	北海道札幌南陵高等学校教頭

【専門委員】

山 田 洋 介	北海道札幌月寒高等学校
荻 原 美 子	北海道札幌西陵高等学校
島 尻 道 秋	北海道札幌南陵高等学校
鈴木 恭 輔	北海道札幌白石高等学校
末 原 真 二	北海道札幌北高等学校
中 川 里 沙	市立札幌旭丘高等学校
桜 井 香 奈	北海道恵庭北高等学校
海 野 雅 和	北海道石狩翔陽高等学校
元 木 平 和	北海道札幌西高等学校

【当番校運営委員】 (札幌南陵高等学校)

鎌 田 光 浩	会計事務担当
東 村 有 希 子	接待担当
小 池 明 香	救護担当

代表専門委員
前回当番校事務局
今回当番校事務局
次回当番校事務局
合唱部門担当
合唱部門担当
吹奏楽部門担当
吹奏楽部門担当
器楽・管弦楽・日本音楽担当

【運営生徒】

北海道札幌白石高等学校	吹奏楽部
北海道札幌白石高等学校	放送局

【打楽器担当】

青 山 泰 寛	音楽専門部委嘱
---------	---------

【録音・録画】

チャンネル2
--------

【楽器リペア】

三響楽器(株)
---------

【警備】

(株) ベルックス
-----------

【実行委員】

野 村 真 之	北海道札幌白石高等学校	大 裕 正 典	北海道江別高等学校
渡 井 陽 子	北海道札幌白石高等学校	大 野 光	北海道野幌高等学校
半 田 健 靖	北海道札幌白石高等学校	小 林 未 佳	北海道千歳北陽高等学校
橋 爪 靖 一	北海道札幌白石高等学校	細 川 知 之	北海道恵庭南高等学校
重 住 弘 一	北海道札幌白石高等学校	笠 原 禎 子	北海道北広島高等学校
酒 井 葉 子	北海道札幌東高等学校	細 野 朋 子	北海道北広島西高等学校
磯 部 康 志	北海道札幌南高等学校	岡 田 久 美 子	北海道石狩翔陽高等学校
山 崎 嘉 将	北海道札幌北高等学校	沢 出 晋 也	市立札幌藻岩高等学校
大 野 香 郎	北海道札幌啓成高等学校	米 田 浩 哉	市立札幌新川高等学校
金 森 正 史	北海道札幌啓成高等学校	鎌 田 聖 也	市立札幌新川高等学校
中 川 史 子	北海道札幌手稲高等学校	佐 藤 満 里	市立札幌平岸高等学校
小 野 辰 朗	北海道札幌手稲高等学校	青 木 恵 里	市立札幌啓北商業高等学校
中 植 隆 章	北海道札幌丘珠高等学校	中 原 聡 章	市立札幌開成中等教育学校
稲 垣 佳 恵	北海道札幌東陵高等学校	村 上 裕 真	札幌第一高等学校
山 森 章 市	北海道札幌東陵高等学校	平 田 稔 夫	札幌第一高等学校
野 呂 和 代	北海道札幌西陵高等学校	安 藤 卓 人	札幌第一高等学校
照 井 聡 博	北海道札幌北陵高等学校	渋 川 誠 人	札幌創成高等学校
渡 邊 昭 博	北海道札幌北陵高等学校	佐 々 木 啓 行	札幌大谷高等学校
一 戸 美 子	北海道札幌真栄高等学校	金 村 郁 恵	札幌静修高等学校
渡 邊 直 恵	北海道札幌厚別高等学校	日 下 広 明	札幌静修高等学校
村 松 勇 太	北海道札幌あすかぜ高等学校	西 澤 恒 洋	札幌山の手高等学校
竹 本 正 治	北海道札幌稲雲高等学校	幅 野 由 美	札幌山の手高等学校
水 上 夕 規 子	北海道札幌平岡高等学校	青 木 信 也	北海道科学大学高等学校
梅 原 浩 己	北海道札幌東商業高等学校	立 野 統 子	北海道科学大学高等学校
上 西 亮 道	北海道札幌国際情報高等学校	高 木 美 代 子	北海学園札幌高等学校
三 木 豊 道	北海道有朋高等学校		